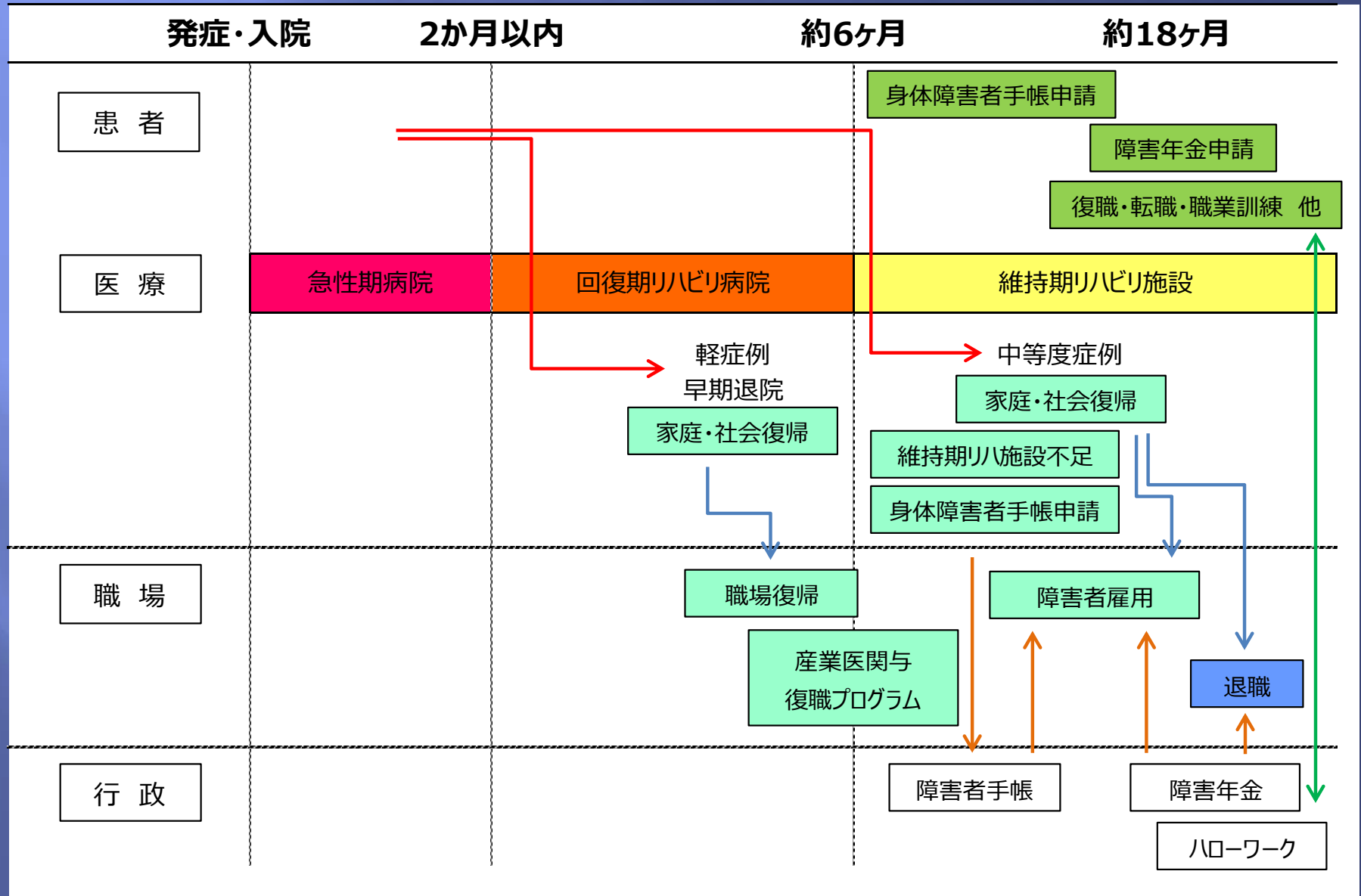


勤労者世代脳卒中患者の治療過程と復職



脳卒中患者の職場復帰に関する報告

- 勤労者世代脳卒中患者の退院予後は治癒・軽快が約80%

(※ 全国労災病院データより)

- 1990年以降の復職に関するデータでは発症前有職の復職率は44%程度

(※ 佐伯覚ら 総合リハ39 2010より)

- 医療機関の復職支援があると復職率があがる傾向

(※ 労災13疾病分野 職場復帰のためのリハビリテーションより)

治療就労両立支援モデル事業とは？

（脳卒中リハビリテーション分野）

- ▣ 急性期治療から復職に至るまでの一貫した支援を行う
- ▣ 身体機能の評価、職業情報の収集、転院先にも必要な治療継続のための連携を行う
- ▣ 事業所・家族等との連携により復職方法（職場訪問・現職復帰・配置転換等）の検討を行う

支援モデル事業の対象者

- ▣ 発症前に就労されていた方
- ▣ 自身の復職に対する希望をお持ちの方
- ▣ 支援経過の登録に同意のある方

復職コーディネーターがお話をお伺いします

復職に向けて両立支援チーム（医師・リハビリスタッフ・復職コーディネーター等）がお手伝いします

復職コーディネーターの役割



- ・患者・家族・医療者から情報収集
- ・患者・家族の希望や不安を聴く
- ・職場からの情報収集
- ・医療・職業関連情報の整理

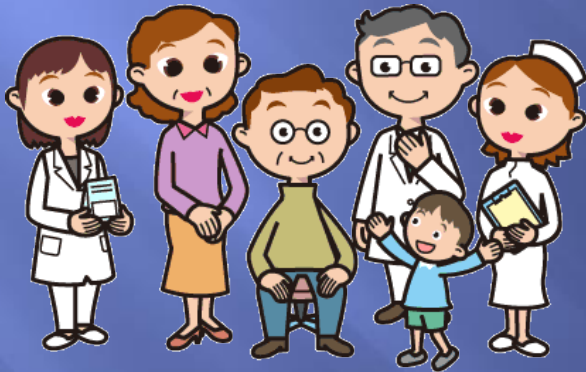
- ・回復期病院への情報伝達
- ・患者回復状況のチェック
- ・患者・転院先・職場間の情報共有化
- ・産業医との連携(関与があれば)

- ・復職方法の検討
(原職復帰, 配置転換など)
- ・患者・家族と職場との調整
- ・再就職の可能性

- ・復職後のフォロー
- ・職業リハへの情報提供



復職コーディネーターが患者さんの状況を把握し
治療の場である病院と
生活の場である職場とを繋ぎます



患者さんと病院



患者さんと職場

詳しくは…

山口労災病院 治療就労両立支援部

脳卒中リハビリテーション分野 0836-83-2881 (代)